

平成 27・28 年度 土木学会複合構造委員会 第 8 回幹事会議事録

日 時：平成 28 年 7 月 28 日（木）14:00～17:10

場 所：土木学会 C 会議室

出席者：奥井委員長，西崎副委員長，滝本幹事長，池田幹事，~~夫久保~~幹事，葛西幹事，~~斎藤(隆)~~幹事，~~斎藤(成)~~幹事，
下村幹事，平幹事，中村幹事，広瀬幹事，牧幹事，松本幹事，溝江幹事，久
米村事務局

配布資料：

資料 幹 8-0	平成 27・28 年度第 8 回複合構造委員会幹事会議事次第
資料 幹 8-1	平成 27・28 年度第 7 回複合構造委員会幹事会議事録（案）
資料 幹 8-2	平成 27・28 年度第 3 回複合構造委員会議事録（案）
資料 幹 8-3	平成 28 年度全国大会共通セッションプログラム
資料 幹 8-4	平成 28 年度全国大会研究討論会
資料 幹 8-5	第 6 回 FRP 複合構造・橋梁に関するシンポジウム準備
資料 幹 8-6	論文集特集号準備状況
資料 幹 8-7	出版関係
資料 幹 8-8-1	平成 28 年度委員会予算（案）
資料 幹 8-8-2	29_複合構造委員会 連絡文
資料 幹 8-8-3	添付資料（1） 調査研究拡充支援金の部門内での配分について
資料 幹 8-8-4	添付資料（2） 29 複合構造委員会
資料 幹 8-9	第 1 回日中ジョイントシンポジウム
資料 幹 8-10-1	10 周年記念式典に関する資料
資料 幹 8-10-2	10 周年記念式典 PD 案
資料 幹 8-11-1	平成 28 年度重点研究課題募集案内（参考）
資料 幹 8-11-2	H24-28 重点研究課題一覧
資料 幹 8-11-3	平成 29 年度重点研究課題案松本
資料 幹 8-11-4	平成 29 年度重点研究課題案滝本
資料 幹 8-11-5	平成 29 年度重点研究課題案斎藤
資料 幹 8-13-1	土木学会 出版企画（平成 29 年度）の募集について
資料 幹 8-13-2	★送信先一覧 2016
資料 幹 8-13-3	01_出版企画書-2016 送信用
資料 幹 8-13-4	02_販売促進活動計画書 2016
資料 幹 8-13-5	03_予算要求調書-2016 年送信用
資料 幹 8-13-6	04_出版企画書_記入例
資料 幹 8-13-7	05_[参考]企画書提出後のフロー 2016
資料 幹 8-14	次回幹事会（仙台国際センター）

議事内容：

0. 委員長挨拶

特になし。

1. 第 7 回幹事会議事録案の確認（資料 幹 8-1）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があり、承認された。

2. 第3回委員会議事録案の確認（資料 幹8-2）

松本幹事より、資料に沿って説明があった。

- ・1箇所修正（5.（3）3行目 「論文集特別号」→「論文集特集号」）の上、了承された。

3. 平成28年度全国大会・年次学術講演会（資料 幹8-3）

松本幹事より、資料に沿って説明があった。

- ・プログラムについては、こちらの希望通りであることが確認されているとの報告があった。
- ・複合構造のセッションに積極的に参加いただきたいとの依頼があった。

4. 平成28年度全国大会・研究討論会（資料 幹8-4）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。

- ・話題提供者より当日の配布資料（資料 幹8-4）は既に提出されている。何か気が付いた点があれば、8/1までに斉藤(隆)幹事へ直接連絡していただきたい。
- ・体裁として、以下の2点について指摘があった。
 - －2頁目の「株式会社」についてはそろえたほうがよい。
 - －2頁目の「改定」は「改訂」とするのがよい。
- ・当日の進行、時間配分については、斉藤(隆)幹事がたたき台を作成して、事前に委員長と相談する予定とのことであった。
- ・当日にアンケート等を行う場合、早めに対応をいただき、幹事会へ報告していただくこととなった。

5. 第6回FRP複合構造・橋梁シンポジウム（資料 幹8-5）

松本幹事より、資料に沿って説明があった。

- ・学生の参加が多いので、運営上の困難な状況（費用面、優秀講演賞の選出）も想定される。
- ・著者に執筆を依頼し、現在、論文の作成中である。
- ・開会の挨拶は、シンポジウム委員会委員長が、閉会の挨拶は奥井委員長が行うこととなった。
- ・見学会については、論文集編集委員会の委員も参加できるように調整する。
- ・「開催のお知らせ」の中で、見学会、懇親会の参加費は、その他の方に記載することとなった。
- ・2箇所に記載されている、懇親会の時間が合っていないので修正する。

6. 複合構造論文集について（資料 幹8-6）

牧幹事より、資料に沿って説明があった。

- ・次回の論文集委員会は、8月8日に開催する予定である。
- ・久米村事務局より、FRPシンポの投稿リストを編集小委員会へ提供いただくことになった。
- ・書籍作成（H103）、耐荷メカ（H212）、更新改築（H213）の委員会報告が次回の候補となっているので、掲載について検討していただきたいとのことであった。

7. 出版関係（資料 幹8-7）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。

- ・6月末時点での出版物販売状況の報告があった。
- ・「鋼コンクリート合成床版設計・施工指針（案）」については、九州地区で、博多あるいは熊本で開催する予定であるため、書籍の販売が見込めるとのことであった。

- ・FRP 関係では、販売が不振のことが多い。販売促進の一環として、FRP 関係の学会、雑誌へ広告を出してはどうかという意見があった。他の出版物についても、同様に考えることもできるため、関連学協会の広告料等の費用について確認することとなった。
- ・新規委員会の発足時に、関連する書籍を委員に配布することも考えて、年度末の予算等で、買い上げることも今後検討することとなった。

8. 平成 28 年度予算案（資料 幹 8-8-1～幹 8-8-4）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。

- ・調査研究費 98 万円（H27 年度 81 万円）、調査研究拡充支援金 108.8 万円（H27 年度 35.2 万円）で、合計：206.8 万円（H27 年度 116.2 万円）の配当があり、配分案が示され、審議を行った。
- ・編集小委員会の予算が厳しいため、50 万円を計上し、会議費、来年度分の校正費用を今年度で支払うことも検討することとなった。
- ・FRP シンポの見学会のバス代（約 11 万円）は、幹事会の予算から支払う予定とする。
- ・示方書作成（H101）を 20 万円、編集小委員会を（H105）50 万円にそれぞれ変更し、その他を予備費で調整することとなった。
- ・予算については、各委員会で、有効に使っていただくように依頼があった。

9. 第 1 回日中ジョイントシンポジウム（資料 幹 8-9）

奥井委員長より、資料に沿って説明があった。

- ・話題提供者は、そろそろ確定したいため、各担当者に依頼があった。
- ・見学会については、10 月 24 日に、生麦 JCT 工事現場（橋梁とトンネル）を予定している。
- ・シンポジウムの配布資料は、概要（2 ページ）であり、提出期限は 9/20 までとのことであった。
- ・発表時間は 15 分の予定である。

10. 10 周年記念式典（資料 幹 8-10-1, 幹 8-10-2）

池田幹事、溝江幹事より、資料に沿って説明があった。

- ・資料 幹 8-10-1 中の下線部が更新された箇所である。
- ・記念式典報告書の提出期限は 9 月末である。これから執筆予定者へ、直接、原稿依頼することとなった。原稿内容は、11 月の委員会で最終確認する。
- ・当日欠席となる話題提供者については、ビデオレター、PC 会議システム（スカイプ）などを検討することとなった。
- ・式典の開催案内は、10 月号の学会誌会告に出す予定であり、全国大会研究討論会でもアナウンスをすることとなった。
- ・行事計画書を作成し、参加申し込みなども Web サイトで行う予定である。会告原稿の提出締切は 8/10 までであるため、原稿案については、幹事会でメール審議することとなった。
- ・参加費は 1 万円の予定であり、式典参加、出版物のみの場合は 5000 円とし、懇親会からの参加の場合でも 1 万円とする。
- ・パネルディスカッションについては、4 分野の話題 90 分（発表 60 分、ディスカッション 30 分）の案が示され、これを基本として進めることとなった。
- ・PD 担当の委員として、牧幹事が追加されることとなった。
- ・座長は奥井委員長、パネラーは、広瀬幹事、池田幹事、岩波委員（もしくは川端委員）、渡辺委員、大山委員、西崎副委員長を候補案として、幹事会から打診することとなった。
- ・池田幹事により作成された 10 周年記念式典の概要（会告資料）を、各パネラーから内諾を得るために、牧幹事から連絡することとなった。正式には、後日、委員長名でパネラーの依頼を行う予定である。

1 1. 平成 29 年度重点課題案（資料 幹 8-11-1～幹 8-11-5）

各委員から資料に沿って説明，提案があり，議論を行った．主な提案，意見は以下のとおり．

- ・教育プログラムの開発（幹 8-11-3）については，新しい視点であるので，膨らませればよい企画になると思われるとの意見があった．例えば，コンサルタント委員会と共同開発することも考えられる．
- ー木材とほかの材料との複合化の提案（幹 8-11-4）
- ーミニマムアビリティの確保に関する研究の提案（幹 8-11-5）
- ーロードレーティング（鋼・コンクリート・複合構造）
- ・他分野からの賛同（浮動票）が得られるような企画がよいのではないかと意見があった．
- ・9 月の幹事会まで継続審議することとなった．さらに案を募り，検討する．

1 2. 小委員会報告審議事項

(1) H101 複合構造標準示方書小委員会

滝本幹事長より，説明があった．

- ・コアメンバに委員就任の連絡をしたところ，辞退の連絡はないので，これで進めることとなった．
- ・第 1 回小委員会は 10 月に開催する予定である．

(2) H103 複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会

滝本幹事長より，資料に沿って説明があった．

- ・9 月に原稿案を集めることで調整を行っているとの報告があった．

(3) H106 FRP による構造物の補修補強指針作成小委員会

中村幹事より，説明があった．

- ・第 2 回小委員会を 7 月に開催したとの報告があった．
- ・目次案が検討され，各 WG で原案作成を行うこととなった．
- ・共通編 WG では，共通編の内容を取りまとめるために，鋼・コンクリート，材料・試験法の各 WG の主査を加えて，検討を行う予定である．
- ・次回の小委員会は，10 月に開催される幹事会で進捗を確認して，開催を決定する予定である．

(4) H150 各種ずれ止めの性能照査のための評価方法研究小委員会

平幹事より，説明があった．

- ・役割分担を決めてそれぞれで検討を行っているとの報告があった．
- ・次回小委員会は 9 月に開催する予定である．

(5) H212 複合構造物の耐荷メカニズム研究小委員会

牧幹事より，説明があった．

- ・活動期間が残り 10 ヶ月であるので，取りまとめに向けて活動中との報告があった．
- ・次回小委員会は 10 月 24 日に開催する予定である．

(6) H213 構造物の更新・改築技術に関する研究小委員会

滝本幹事長より，説明があった．

- ・WG を中心に，報告書のまとめを行っているとの報告があった．
- ・1 期で報告書をまとめる予定であり，報告書の完成は 3 月末，講習会の開催は 5 月の予定である．
- ・複合構造論文集（A1 特集号）に，委員会報告の掲載を検討していただくこととなった．
- ・次回小委員会は 9 月 24 日に開催する予定である．

(7)H214 維持管理を考慮した複合構造の防水・排水に関する調査研究小委員会
溝江幹事より、説明があった。

- ・約1年が経過したところであり、3つのWGが今週と来週に開催される予定である。
- ・次回小委員会は8月に開催する予定である。

(8)H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会
池田幹事より、説明があった。

- ・第1回小委員会を7月14日に開催したとの報告があった。
- ・次回小委員会は9月に開催する予定である。

(9)H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会
松本幹事より、説明があった。

- ・第1回小委員会を6月28日に開催されたとの報告があった。
- ・次回小委員会は9月以降に開催する予定である。

1 3. 出版企画（平成29年度）の募集について（資料 幹8-13-1～幹8-13-7）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。

- ・出版企画がある場合（5つの小委員会が該当）、次回の幹事会までに提出することとなった。出版事業課への出版企画書の提出期限は9月末までである。
- ・報告書は、出版事業課を通して出版しなくてもよいこと、また、その場合でも「複合構造レポート」のシリーズとして出すことが可能であることを確認した。
- ・出版事業課を通じて出版すると複合構造委員会の出版実績としてカウントされるが、原価回収部数を見込めるかどうかを十分に検討する必要がある。なお、出版事業課を通じて出版しない場合、出版実績のカウントはない。

1 4. 次回幹事会（資料 幹8-14）

滝本幹事長より、第9回複合構造幹事会は、全国大会期間中に、以下の予定で開催されとの報告があった。

日時：9月8日（木）14:00～17:00（13時から利用可能）

場所：仙台国際センター 会議棟1階 小会議室1

1 5. その他

特になし

以 上

（記録・文責：中村）